

## 専門科目(文学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS652	アメリカ文学特講II	2	1.5	1-5					《アメリカ文学と医学言説》 医学は科学であると同時に言説でもある。この授業は、スーザン・ソントクの『隠喩としての病い』とミシェル・フーコーの『狂気の歴史』『臨床医学の誕生』を足がかりとして、医学言説とアメリカ文学とのあいだの編織を論じる。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。講師はアメリカ文学・アメリカ映画における医学言説について講義を行い、履修者はそれぞれの研究テーマにおける医学言説について研究発表を行う。	2020年度より4年おき開講。 2023年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
02DS653	アメリカ文学特講III	1	1.5	1-5					《病いとしてのモダニティー》 モダニティーはしばしばデカダンスという隠喩的病いとして語られ、モダニズムはある意味においてそのような隠喩的病いの治療法の探究でもあった。この授業では、病い・身体的障がい・知的障害の表象とモダニズムとのあいだの相関性について論じる。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。講師はモダニズムと医学言説とのあいだの関わりについて講義を行い、履修者は各国文学における病いと障がいの表象について研究発表を行う。	2020年度より4年おき開講。 2023年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
02DS654	アメリカ文学特講IV	1	1.5	1-5	春AB 春C	火3 集中		宮本 陽一郎	《アメリカ文学における空間の詩学 I》 小説というジャンルの研究の焦点が、もっぱら登場人物と時間構造に向けられてきたのは無理からぬことである。しかし小説は真空のなかで展開するのではなく、作品固有の空間を必ず構築し、それは文学と文学以外の言説とのあいだの結節点として機能する。この授業では空間の詩学という観点からの文学の分析の可能性を探る。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。履修者はそれぞれの研究テーマにおける空間表象について研究発表を行う。	2023年度より4年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
02DS655	アメリカ文学特講V	1	1.5	1-5	秋AB 秋C	火3 集中		宮本 陽一郎	《アメリカ文学における空間の詩学 II》 空間の詩学についての理論史を踏まえつつ、本授業では20世紀アメリカ文学と地政学との関わりについて、フォークナー、チーヴァー、ギブソンの作品を論じる。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。履修者はそれぞれの研究テーマにおける空間表象について研究発表を行う。	2023年度より4年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
02DS657	アメリカ文学特講VI	1	1.5	1-5					《戦後と「アメリカ」》 文学的テーマとしての《戦後》は、ホメーロスの『オデュッセイア』まで容易にさかのぼることができる。この授業では、文学が《戦後》を表象すると同時に、どのように《戦後》を構築してきたかを論じる。 アメリカ文学以外を専攻する履修者を歓迎し、比較文学的視点を重視する。講師は第二次世界大戦後の戦後構築と表象としての《アメリカ》との関わりについて講義を行い、履修者は各国文学における《戦後》ないし《アメリカ》の表象について研究発表を行う。	2021年度より4年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
02DS961	国際発表実習I(文学)	3	1.0	1-5	通年	応談		佐野 隆弥	文学分野における博士論文を執筆する過程でその研究成果の一部をもって、海外における学会発表などを行うことで、研究における国際的視野を獲得することを目的とする。	指導教員または研究発表の指導を行う教員と事前に相談のうえ、履修登録をすること。
02DS962	国際発表実習II(文学)	3	1.0	1-5	通年	応談		佐野 隆弥	文学分野における博士論文を執筆する過程でその研究成果の一部をもって、海外における学会発表などを行うことで、研究における国際的視野を獲得することを目的とする。	指導教員または研究発表の指導を行う教員と事前に相談のうえ、履修登録をすること。
02DS963	国際発表実習III(文学)	3	1.0	1-5	通年	応談		佐野 隆弥	文学分野における博士論文を執筆する過程でその研究成果の一部をもって、海外における学会発表などを行うことで、研究における国際的視野を獲得することを目的とする。	指導教員または研究発表の指導を行う教員と事前に相談のうえ、履修登録をすること。

02DSA01	文学批評研究(1A)	2	1.0	1・2					20世紀以降蓄積されてきたさまざまな文学理論を意識しながら、文学研究を学術的に展開するための方法論を発表形式で実践的に学ぶ。学生各自の問題意識にもとづいて研究方法を洗練させていくために、受講生各自が自分の研究にとってもっとも重要な分析対象テキストを紹介し、それをもとに自分の研究の構想を発表する。受講生全員が題材として紹介されるテキストを授業までに読んでおくことを義務とし、討議の充実をはかる。	西暦偶数年度開講。 OABAE01と同一。 対面
02DSA02	文学批評研究(1B)	2	1.0	1・2					文学研究を学術的に展開するための方法論を発表形式で実践的に学ぶ。学生各自の問題意識にもとづいて研究方法を洗練させていくために、受講生各自が自分の研究にとってもっとも重要な先行研究を紹介し、それをもとに自分の研究の構想を発表する。受講生全員が題材として紹介される先行研究を授業までに読んでおくことを義務とし、討議の充実をはかる。	西暦偶数年度開講。 OABAE02と同一。 対面
02DSA03	文学批評研究(2A)	2	1.0	1・2	春AB	火6	青柳 悦子		方法論的意識をより拡充しながら、文学研究を学術的に展開するための能力を高める。とりわけ近年の新たな研究動向に着目し、これからの文学研究に必要な着眼点や有効な問題設定を抽出する。先行研究からとりわけ分析の手法と論述の技法を学び、みずからの研究活動に生かすために、教員および学生各自が自分の研究と関わる優れた著作・論文を選んで紹介するとともに批評的な分析を加える。受講生全員が題材として紹介される先行研究を授業までに読んでおくことを義務とし、討議の充実をはかる。	西暦奇数年度開講。 OABAE03と同一。 対面 人社棟A203
02DSA04	文学批評研究(2B)	2	1.0	1・2	秋AB	火6	青柳 悦子		文学研究能力を高め、必要な基礎知識を確かなものとすると同時に、将来の文学教育者としての基礎的な資質を養うためにも、文学批評概説ないし文学研究入門書の一項目を受講生各自が試行的に執筆する。モデルとして、橋本陽介『物語論 基礎と応用』、丹治愛・山田広昭『文学批評への招待』、土田知則・青柳悦子『文学理論のブックティクス』、廣野由美子『批評理論入門—『フランクシュタイン』解剖講義』などを用いる。学生各自が選んだ対象作品について、構想の作成、素案執筆、学生相互の批評を経た推敲をおこない、学術的信頼を獲得しうる水準にまで高めていく。	西暦奇数年度開講。 OABAE04と同一。 対面 人社A203
02DSA05	文学研究発表演習A	2	1.0	1	春AB	木6	加藤 百合、青柳悦子、齋藤 一、吉原 ゆかり		受講生全員が研究発表を行い、教員も参加してディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における論文執筆や学会発表の方法の基礎を実践的に学ぶ。発表者は、必ずしも完成された研究内容でない萌芽的な研究であっても、問題意識を鮮明にし、先行研究を概観しつつ当該研究の位置づけを示し、的確に対象テキストの分析をおこなったうえで有意義な考察を展開するよう努め、その成果を学術的な形式にのって発信する機会とする。他の受講者は、これらの側面を吟味し、研究の質の向上のための改善策を検討し、建設的な発言能力を磨く。	OABAE05と同一。 対面
02DSA06	文学研究発表演習B	2	1.0	1	秋AB	木6	加藤 百合、青柳悦子、齋藤 一、吉原 ゆかり		受講生全員がより高度な学術的水準をめざして研究発表を行い、教員も参加してディスカッションを行うことで、文学・文化研究分野における学術論文執筆や学会発表の洗練方法を実践的に学ぶ。発表者は学位論文に結実することを念頭にいた研究発表をおこない、問題意識を深化させ、先行研究を批判的に概観しつつ当該研究の独自性を示し、的確かつ説得力ある対象テキスト分析をおこなったうえで学界に寄与する考察を展開するよう努め、その成果を完成度の高い学術的形式にのって発信する機会とする。他の受講者は、これらの側面を吟味し、研究の質の向上のための有効な改善策を検討し、建設的な発言能力を一層磨いて、学術交流のための資質を高める。	OABAE06と同一。 対面 教室は人社棟A520
02DSA07	文学理論研究(1A)	2	1.0	1・2					最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最近の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エーリッヒ・アウルバツハ『ミメーシス』を、主に日本語訳を利用しながら講読することで、ヨーロッパ文学における現実表象について学ぶ。	西暦偶数年度開講。 OABAE07と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DSA08	文学理論研究(1B)	2	1.0	1・2					最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最近の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エドワード・サイード『オリエンタリズム』の英語原典(部分)を、日本語訳を参考にしながら講読することで、脱構築、ポストコロニアル批評の根本的発想を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 OABAE08と同一。 対面

02DSA09	文学理論研究(2A)	2	1.0	1・2	春AB	月3	人社 A206	齋藤 一	最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最近の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、エーリッヒ・アウエルバハ『ミメーシス』(日本語訳上・下巻)などを、主に日本語訳を利用しながら講読することで、文学における「リアル」とは何かということについて学ぶ。	西暦奇数年度開講。 OABAE09と同一。 対面
02DSA11	文学理論研究(2B)	2	1.0	1・2	秋AB	月3	人社 A206	齋藤 一	最新の文学理論を自ら応用し作品分析に利用できるまで習熟することを目標とする。そのために、最近の文学理論を理解するために不可欠な、すでに古典的となった欧米の文学理論書、フレドリック・ジェイムソン『政治的無意識』の日本語訳などを、英語原典を参考にしながら講読することで、構造主義詩学とマルクス主義批評の根本的発想を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 OABAE11と同一。 対面
02DSA12	文学交流論演習(1A)	2	1.0	1・2					広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品を精読する。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法、研究資料調査方法を習得する。植民地出身者が宗主国語で書いた作品や、テキストで用いられる言語を第一言語としない人により書かれた作品、高級文化とポピュラー・カルチャーを交錯させる作品など、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品を取り上げる。	使用言語は、日本語及び英語。 西暦偶数年度開講。 OABAE12と同一。 対面 人社A203
02DSA13	文学交流論演習(1B)	2	1.0	1・2					広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流についての理解を深めるために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキストの精読を行う。学術的レベルでのテキスト作品精読に不可欠な、周辺資料の調査方法、研究資料調査方法、研究倫理を習得する。ジェンダー論、ポストコロナル理論をとくに重視する。LGBTQ、女性、人種的マイノリティなど、社会的弱者によって/ついて書かれたテキスト作品を重視する。	使用言語は、日本語及び英語。 西暦偶数年度開講。 OABAE13と同一。 対面 人社A203
02DSA14	文学交流論演習(2A)	2	1.0	1・2	春AB	火3		吉原 ゆかり	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相を知るために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品に関する、研究論文(日本語・英語)の読解演習を行う。学術論文を読解し、論理構成を理解し、自分の研究に応用するための基礎力を養成する。研究論文読解の前提となる、対象テキスト作品の精読を合わせて行う。ジェンダー、階級、マイノリティ表象に注目した、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品について書かれた学術論文を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 OABAE14と同一。 対面
02DSA15	文学交流論演習(2B)	2	1.0	1・2	秋AB	火3		吉原 ゆかり	広義でのテキスト作品(文学テキスト作品、画像・映像を併用した作品を含む)を通じた文化交流の諸相に関する理解を深めるために、日本語もしくは英語で書かれた、近現代テキスト作品に関する、学術・研究論文(日本語・英語)の読解演習を行う。学術論文を読解し、論理構成を理解し、自分の研究に応用するための応用力を養成する。研究論文読解の前提となる、対象テキスト作品の精読スキル育成を行う。ジェンダー、階級、マイノリティ表象、文化序列に注目した、複数の文化・言語・地域を交流・交差させる作品について書かれた学術論文を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 OABAE15と同一。 対面
02DSA16	比較文学研究(1A)	2	1.0	1・2					比較文学のひとつの方法論として翻訳研究を行う。明治時代の言説(文学論・評論・文芸)を当時の文脈で考証する力をつけることを目標として同時代資料と併せて読み込む訓練を行う。基礎知識となる著作の講読を担当を決めて行う。	西暦偶数年度開講。 OABAE16と同一。
02DSA17	比較文学研究(1B)	2	1.0	1・2					明治時代の一次資料を丁寧に読む。近代文学を歴史的に位置づけながら追究する。まずは二次資料による現在の解釈を離れて、文献を初出の形で読むことによる研究方法を学ぶ。受講者の知識の領域や興味の範囲を勘案してより具体的な計画を立てる。自らが研究している領域のなかから翻訳・翻案に関わるテーマを見出して発表を準備したうえで、履修者で討論・検討を行う。	西暦偶数年度開講。 OABAE17と同一。 発表、個別指導などを 対面で実施。
02DSA18	比較文学研究(2A)	2	1.0	1・2	春AB	木3		加藤 百合	比較文学のひとつの基本的研究としてジャンル研究を行う。明治時代の言説(文学論・評論・文芸)を当時の文脈で考証する力をつけることを目標として同時代資料と併せて読み込む訓練を行う。基礎知識となる著作の講読を担当を決めて行う。	西暦奇数年度開講。 OABAE18と同一。 対面 人社棟A520

02DSA19	比較文学研究 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	木3		加藤 百合	明治時代の一次資料を丁寧に読む。近代文学を歴史的に位置づけながら追究する。近代文学を歴史的に、当時のままの形(初出形態かそれを代替するもの)で丁寧に読み、時代状況のなかに位置づける訓練をする。必要な資料と適切なテキストを準備しそれを読む。基本的に演習形式で行なう。自らが研究している領域のなから外国文学受容とジャンルに関わるテーマを見出して発表を準備したうえで、履修者で討論・検討を行う。	西暦奇数年度開講。 OABAE19と同一。 対面 人社棟A520
02DSA21	古典古代学研究 (1A)	2	1.0	1・2					旧約聖書研究。原典をヘブライ語で講読するとともに、ギリシア教父の注釈・新約聖書における受容などを勘案して総合的に考察する。ヘブライ語の文法知識を固めることも念頭に置く。	西暦偶数年度開講。 OABAE21と同一。 対面
02DSA22	古典古代学研究 (1B)	2	1.0	1・2					春学期に引き続き、旧約聖書研究を行う。原典をヘブライ語で講読するとともに、ギリシア教父の注釈・新約聖書における受容などを勘案して総合的に考察する。今学期は詩編研究を中心に据える予定。	西暦偶数年度開講。 OABAE22と同一。 対面
02DSA23	古典古代学研究 (2A)	2	1.0	1・2	春AB	金5	人社 B505	秋山 学	旧約聖書研究。翻訳受容史を含めた旧約聖書テキストについて、最近の研究動向を注視しながら文献学的に検討する。	西暦奇数年度開講。 OABAE23と同一。 対面
02DSA24	古典古代学研究 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	金5	人社 B505	秋山 学	旧約聖書研究。翻訳受容史を含めた旧約聖書テキストについて、最近の研究動向を注視しながら文献学的に検討する(春学期の継続)。	西暦奇数年度開講。 OABAE24と同一。 対面
02DSA25	古典古代学演習 (1A)	2	1.0	1・2					五経の一つ『詩経』について、その伝承史を考えながら作品を解釈する。経学(特に『春秋』)の中で、『詩経』に収められた諸詩編がどのような解釈を施されてきたかを批判的に考えていきたい。	西暦偶数年度開講。 OABAE25と同一。 オンライン(オンデマンド型)
02DSA26	古典古代学演習 (1B)	2	1.0	1・2					春学期に引き続き、『詩経』について、その伝承史を考えながら作品を味読する。秋学期には『春秋左氏伝』ほかの資料をも参照し、『詩経』に収められた諸詩編に対する歴史的・思想的解釈の可能性について考えてみたい。	西暦偶数年度開講。 OABAE26と同一。 オンライン(オンデマンド型)
02DSA27	古典古代学演習 (2A)	2	1.0	1・2	春AB	金1		秋山 学	Under the general theme of the "Sheol and Grace in the Psalms", we would like to do a philological reading of the selected Psalms in the frame of Online-OnDemand.	西暦奇数年度開講。 OABAE27と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
02DSA28	古典古代学演習 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	金1		秋山 学	Under the general theme of the "Sheol and Grace in the Psalms", we would like to do a philological reading of the selected Psalms in the frame of Online-OnDemand.	西暦奇数年度開講。 OABAE28と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
02DSA29	和漢比較文学研究 (1A)	2	1.0	1・2					古代和歌の表現に習熟し、古代文学関連の文献の扱い方を学ぶことを主な目的とし、『古今和歌集』から『寛平御時后宮歌合』歌を取りあげる。なかでも『新撰万葉集』所収歌について和歌を翻案した漢詩との表現の異同を考察する。あわせて詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。扱う資料の概観を行った後、12番歌、13番歌について演習担当者を決めて報告を求め、討議を行う。	西暦偶数年度開講。 OABAE29と同一。 対面
02DSA31	和漢比較文学研究 (1B)	2	1.0	1・2					古代和歌の表現に習熟し、古代文学関連の文献の扱い方を学ぶことを主な目的とする。『古今和歌集』から『寛平御時后宮歌合』歌を取りあげる。なかでも『新撰万葉集』所収歌について和歌を翻案した漢詩との表現の異同を考察する。あわせて詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。15番歌、46番歌について演習担当者を決めて報告を求め、討議を行う。	西暦偶数年度開講。 OABAE31と同一。 対面
02DSA32	和漢比較文学研究 (2A)	2	1.0	1・2	春AB	火4	人社 A620	谷口 孝介	『白氏文集』巻十二感傷詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	西暦奇数年度開講。 OABAE32と同一。 対面
02DSA33	和漢比較文学研究 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	火4	人社 A620	谷口 孝介	『白氏文集』巻十二感傷詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、白居易独自の感傷詩の表現を吟味する。	西暦奇数年度開講。 OABAE33と同一。 対面
02DSA34	日本中古文学研究 (1A)	2	1.0	1・2					注釈史のなかで、注釈書が『源氏物語』を離れて生きていった実態を、中世、近世に注目し、あきらかにすることをこころみる。あわせて、伝統的な文献学の方法が、通説のように『源氏物語』注釈書に無条件にあってはめ用いられるかについて問い、従来、価値のないものとして顧みられることの少なかった近世末期の転写本を生んだ状況を具体的に問う。	西暦偶数年度開講。 OABAE34と同一。 対面

02DSA35	日本中古文学研究 (1B)	2	1.0	1・2					『源氏物語』注釈史研究。 文学史という視点で『源氏物語』注釈史を顧み、中古、中世および近世の教養の基盤について考察する知識、技術を得る。注釈史、享受史がとぎれることがなかったという点で『源氏物語』は、物語作品として特異な存在といえる。そのことに留意し、『源氏物語』を文学史のなかで捉えだすことをこころみる。その過程でとくに、『源氏物語』の諸本について、その注釈史と不可分の問題をもつことについて具体的に考察する。	西暦偶数年度開講。 OABAE35と同一。 対面
02DSA36	日本中古文学研究 (2A)	2	1.0	1・2	春AB	木2	人社 A207	吉森 佳奈子	平安時代の散文作品をとりあげる。とくに注釈研究の基本を身につける。	西暦奇数年度開講。 OABAE36と同一。 対面
02DSA37	日本中古文学研究 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	木2	人社 A207	吉森 佳奈子	平安時代の散文作品をとりあげる。注釈研究の問題の立て方を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 OABAE37と同一。 対面
02DSA38	日本近代文学研究 (1A)	2	1.0	1・2					日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。	西暦偶数年度開講。 OABAE38と同一。
02DSA39	日本近代文学研究 (1B)	2	1.0	1・2					日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。	西暦偶数年度開講。 OABAE39と同一。 対面
02DSA41	日本近代文学研究 (2A)	2	1.0	1・2	春AB	木4		馬場 美佳	日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。	人社A101 西暦奇数年度開講。 OABAE41と同一。 対面
02DSA42	日本近代文学研究 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	木4		馬場 美佳	日本近代文学作品について、歴史的・文化的背景を意識し、同時代的・即時的な文脈における実証的な観点からの研究を目指す。授業は演習形式で行い、語釈・注釈などの調査に基づいた作品等の理解について各自発表を行うこととする。	西暦奇数年度開講。 OABAE42と同一。 対面 人社棟A520
02DSA43	イギリス文学研究 (1A)	2	1.0	1・2					この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の基本的技能の習得、(2)先行研究のサーヴェイカの構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、A Midsummer Night's Dreamを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を議論を通して涵養する。	西暦偶数年度開講。 OABAE43と同一。 対面
02DSA44	イギリス文学研究 (1B)	2	1.0	1・2					この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の発展的技能の習得、(2)先行研究のサーヴェイカの構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、A Midsummer Night's Dreamを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を涵養した上で、オリジナリティのある論文作成のスキルを議論を通して習得させる。	西暦偶数年度開講。 OABAE44と同一。 対面
02DSA45	イギリス文学研究 (2A)	2	1.0	1・2	春AB	火5	人社 A202	佐野 隆弥	この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の基本的技能の習得、(2)先行研究のサーヴェイカの構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、OED等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、Julius Caesarを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を議論を通して涵養する。	西暦奇数年度開講。 OABAE45と同一。 対面

02DSA46	イギリス文学研究 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	火5	人社 A202	佐野 隆弥	この授業は、(1)シェイクスピアを中心としたエリザベス朝演劇に関する読解の発展的技術の習得、(2)先行研究のサーヴェイカの構築、(3)論文作成技術の習得、の3点を到達目標としている。具体的には、0ED等に丹念に当たりながらシェイクスピア戯曲の意味を特定する作業を行う。また、エリザベス朝演劇研究には、すでに膨大な量の研究の蓄積があり、そのエッセンスはアーデン版の脚注などに反映されているが、こうした脚注を正確に読み取ることも、かなりの力量が要求される。本授業では、この2点を軸として、Julius Caesarを対象にシェイクスピアおよび同時代の戯曲を読み解く能力を涵養した上で、オリジナリティのある論文作成のスキルを議論を通して習得させる。	西暦奇数年度開講。 OABAE46と同一。 対面
02DSA51	英語圏文学文化研究 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	金2				西暦奇数年度開講。 OABAE51と同一。 英語で授業。 対面
02DSA52	フランス文学研究 (1A)	1	1.0	1・2					20世紀以降のフランス文学を思想的・文化的背景とともに考える。文学におけるジャンルの解体と再構築(ロマン、レシ、詩、エッセイなど)、あるいは哲学、絵画、音楽との交流を視野に入れながら、現代文学の特徴について考える。	西暦偶数年度開講。 OABAE52と同一。 状況に応じてオンラインか対面のハイブリッドとする
02DSA53	フランス文学研究 (1B)	1	1.0	1・2					フランス文学界最高の文学賞であるゴンクール賞に焦点を当て、ゴンクール賞を受賞した作品、あるいはノミネートされた作品を読み、フランス現代文学の傾向を探る。文化、思想、社会との関連も射程に入れる。	西暦偶数年度開講。 OABAE53と同一。 状況に応じてオンラインか対面のハイブリッドとする
02DSA54	フランス文学研究 (2A)	2	1.0	1・2	春AB	金5	人社 A205	小川 美登里	20世紀以降、フランス文学は大きな発展をみた。地理的広がり(北アフリカやカリブ海など、フランス語圏文学の射程は大きく広がった)のみならず、複数の言語、複数の文化背景をもつ作家たちも排出された。その一方で、文学そのものの定義も広がった。言語、哲学、イメージ、音楽を自由に行き来するフィクションや批評も多く生み出された。本講義ではとくに音楽/言語/文化の関係に焦点を当てる。	西暦奇数年度開講。 OABAE54と同一。 対面(オンライン併用型)
02DSA55	フランス文学研究 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	水3	人社 A205	小川 美登里	20世紀以降、フランス文学は大きな発展をみた。本講義では言語表象やフィクションの意味を問い直しながら、小説作品を分析する。対象となるのは20世紀・21世紀を代表する小説作品であり、読解を通しながら具体的な分析方法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。 OABAE55と同一。 対面(オンライン併用型)
02DSA56	フランス文学演習 (1A)	2	1.0	1・2					ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた文学作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わることについて考察する。具体的な作家としてはラシーヌ、セヴィニエ夫人、サンシモン等を取り上げるが、サンシモンに関してはブルースト自身による模作も存在するので、それも考察対象とする。	西暦偶数年度開講。 OABAE56と同一。 対面
02DSA57	フランス文学演習 (1B)	2	1.0	1・2					ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた文学作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わることについて考察する。具体的な作家としてはバルザック、フローベール、サント=ブーヴ等を取り上げるが、ブルースト自身による彼らの模作も射程に入れながら、模作や批評がどのように小説へと変貌を遂げたのかについても考察する。	西暦偶数年度開講。 OABAE57と同一。 対面
02DSA58	フランス文学演習 (2A)	2	1.0	1・2	春AB	木3	人社 B410	増尾 弘美	ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた美術作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わることについて考察する。画家エルステールについてはもとより、美術愛好家スワンに関しては現実の人間を絵画中の人物と同一視するという偶像崇拜の傾向があるので、それも芸術作品制作を阻むものという位置付けで見えていく。	西暦奇数年度開講。 OABAE58と同一。 対面
02DSA59	フランス文学演習 (2B)	2	1.0	1・2	秋AB	木3	人社 B410	増尾 弘美	ブルーストの『失われた時を求めて』を題材に、この作品で取り上げられた音楽作品が語り手によってどのように批評され、また登場人物にどのように語られているか、特定の人物による批評がどのような意味をもつか、さらに物語の進行とどのように関わることについて考察する。『ペレアスとメリザンド』のドビュッシー、19世紀フランスでワグネル主義の興隆を見たワーグナー、そして後期弦楽四重奏曲が流行ったベートーヴェンを主な考察対象とする。	西暦奇数年度開講。 OABAE59と同一。 対面

02DSA61	Transnational Literature (1)	2	1.0	1・2						“Transnational Literary Studies” does not only comprise literature (and other media) that is produced across borders and in various languages (including translation), it also analyzes the common multi-lingual and multi-cultural basis inherent in aesthetic productivity. The focus point of this course is on text, author, genre, period, aesthetics, media, methods or translation, depending on the needs and interests of its participants and the research focus of the instructor.	西暦偶数年度開講。OABAE61と同一。英語で授業。
02DSA62	Applied Humanities (1)	2	1.0	1・2						The study of “Applied Humanities” focuses on the interface between traditional literary studies and society. In this course the focus will be on humanities’ contribution to society and on career strategies. Students will have the opportunity to discuss their own approaches and design their own academic profiles. The course will also include analysis and discussion of literary and theoretical texts in an “Applied Humanities” perspective and introduce the relevant methodology.	西暦偶数年度開講。OABAE62と同一。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02DSA63	Transnational Literature (2)	2	1.0	1・2	春AB	火4	人社 A206	ヘーゼルハウス、ヘラト		This course focuses on “Relational Studies in Literature” and analyzes and discusses how texts connect in literature, culture and politics in an international framework. The course will be based on the analysis and interpretation of interconnected primary literary texts proposed by the instructor or participants. It will also introduce and discuss various conceptualizations of “intertextuality”, “relationality”, “multilingualism” and translation”.	西暦奇数年度開講。OABAE63と同一。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02DSA64	Applied Humanities (2)	2	1.0	1・2	秋AB	火4	人社 A206	ヘーゼルハウス、ヘラト		The study of “Applied Humanities” answers to social and intellectual needs of society and is especially dedicated to the understanding and solution-finding processes of global and local crises. The course will focus on topical material (especially literary publications) concerning long-term crises or acute disaster. Students will have the opportunity to do original literary research connected to the course’s main topic.	西暦奇数年度開講。OABAE64と同一。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02DSA65	中国文学研究(1A)	2	1.0	1・2						論理的な思考力を鍛えて知の活用能力をつけるために、120巻本『文選』の精読を通してその特徴を把握することが当該授業の到達目標である。具体的には、巻43所収の詩・巻56所収の挽歌・巻63所収の騷・巻71所収の教・巻79所収の彈事・巻91所収の序・巻113所収の誄・巻47所収の詩・巻61所収の雜擬を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦偶数年度開講。OABAE65と同一。オンライン(同時双方向型)
02DSA66	中国文学研究(1B)	2	1.0	1・2						論理的な思考力を鍛えて知の活用能力をつけるために、鈔本で『文選』を読み、諸本の注釈と比較検討をすることが当該授業の到達目標である。具体的には、巻47所収の詩・巻56所収の雜歌詩・巻66所収の騷・巻71所収の策秀才文・巻85所収の書・巻93所収の頌・巻116所収の碑・巻48所収の詩・巻68所収の七を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦偶数年度開講。OABAE66と同一。オンライン(同時双方向型)
02DSA67	中国文学研究(2A)	2	1.0	1・2	春AB	木5	人社 A620	稀代 麻也子		論理的な思考力を鍛えて知の活用能力をつけるために、集注本で『文選』を読み、各注の特徴を確認することが当該授業の到達目標である。具体的には、巻48所収の詩・巻59所収の雜詩・巻68所収の七・巻73所収の表・巻88所収の檄・巻94所収の贊・巻56所収の樂府・巻66所収の騷・巻98所収の史論を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦奇数年度開講。OABAE67と同一。対面
02DSA68	中国文学研究(2B)	2	1.0	1・2	秋AB	木5	人社 A620	稀代 麻也子		論理的な思考力を鍛えて知の活用能力をつけるために、『唐鈔文選集注彙存』を読み、補注をつけることが当該授業の到達目標である。具体的には、巻56所収の樂府・巻61所収の雜擬・巻71所収の令・巻79所収の彈事・巻88所収の雜・巻98所収の史論・巻59所収の雜詩・巻85所収の書・巻91所収の序を読む。独創的な構想力を身につけ、知を共創する能力を養うため、授業は、演習担当者を決めて報告を求め、討議を行いながら進める。	西暦奇数年度開講。OABAE68と同一。対面

02DSB01	文学論文演習(1A)	2	2.0	1	春ABC	随時	増尾 弘美, 馬場美佳, 佐野 隆弥, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森 佳奈子, 加藤百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代麻也子, 青柳 悦子, 谷口 孝介, 吉原 ゆかり	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から、テーマ設定等、主として最初段階の研究方法について議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	OBBAE11と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
02DSB02	文学論文演習(1B)	2	2.0	1	秋ABC	随時	増尾 弘美, 馬場美佳, 佐野 隆弥, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森 佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 青柳 悦子, 谷口 孝介	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から、研究資料の選択等、主として初期段階の研究方法についての議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	OBBAE12と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
02DSB03	文学論文演習(2A)	2	2.0	2	春ABC	随時	増尾 弘美, 馬場美佳, 谷口 孝介, 青柳 悦子, 佐野 隆弥, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森 佳奈子, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子, 吉原 ゆかり	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から、資料蒐集等、主として中期段階前半の研究方法について議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	OBBAE13と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
02DSB04	文学論文演習(2B)	2	2.0	2	秋ABC	随時	増尾 弘美, 馬場美佳, 谷口 孝介, 青柳 悦子, 佐野 隆弥, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森 佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から、資料読解・分析等、主として中期段階後半の研究方法について議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	OBBAE14と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
02DSB05	文学論文演習(3A)	2	2.0	3	春ABC	随時	増尾 弘美, 馬場美佳, 谷口 孝介, 青柳 悦子, 佐野 隆弥, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森 佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域・他研究領域の両方の立場から、論文の構成等、主として後期段階の研究方法について議論を行い、それぞれの論文執筆の準備に資する。	OBBAE15と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)
02DSB06	文学論文演習(3B)	2	2.0	3	秋ABC	随時	増尾 弘美, 馬場美佳, 谷口 孝介, 青柳 悦子, 佐野 隆弥, ヘーゼルハウス, ヘラト, 秋山 学, 吉森 佳奈子, 吉原 ゆかり, 加藤 百合, 小川 美登里, 齋藤 一, 稀代 麻也子	文学研究諸領域のいずれかにおいて博士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域・他研究領域の両方の立場から、総合的に博士論文の完成に向けた議論を行う。	OBBAE16と同一。 対面。オンライン(同時双方向型)